



玉小女子・全県ミニバスケット大会特集

善戦・金足西に涙のむ

第九回全県ミニバスケットボール教室交歓大会・兼第三回秋田県スポーツ少年団大会が一月五日から三日間、県立体育館で行われ、各市郡代表三十八校が熱戦を繰り広げました。

大会には、女子の部に本町の玉米小チームも出場。一回戦は不戦勝、二回戦で秋田市大会準優勝の金足西小と対戦しました。

試合は、玉小が初ゴールを決め幸先いいスタートを切り善戦健闘しましたが、結局四七対三二で涙をのみ、初陣を飾ることはできませんでした。しかし、得点三二はこれまでの本荘市由利郡代表校(女子)としては最多得点で、同チームの健闘に大会関係者から大きな称賛の声が寄せられ、今後の活躍が期待されています。

会場には、児童、父兄をはじめ地域の人たちが大勢応援にかけつけ、盛んな声援を送って選手を激励、応援合戦では他校を圧倒していました。

町の生活目標

1. 町の心は明るいあいさつ
2. きれいな町で健康な暮らし
3. ミエ・ムダはぶいて生活の工夫
4. 学び・働き・助けあう・ゆたかな心



↑ ハーフタイムを利用してシュート練習



↑ 開会式……市郡予選を勝ち抜いてきた強豪38チームが勢ぞろい



リング下に回りこんでのシュート練習



↑ 横断幕を掲げて盛んな声援。応援合戦では他校を断然圧倒



↑ ミーティング
いつもの調子で……試合を前に入念な



↑ ジャンケンゲームで試合前の緊張ほぐす

応援席から

応援団長 小野久一(六年)

一月六日ミニバスケットボールの県大会に玉米女子が出場しました。出場するまでにはいろいろな苦労があったと思います。正月も学校にきて練習をしていました。食べものまで制限されていました。でも、それをのりこえてがんばってきました。試合は、とてもチームワークもよく全力を出してがんばっていました。

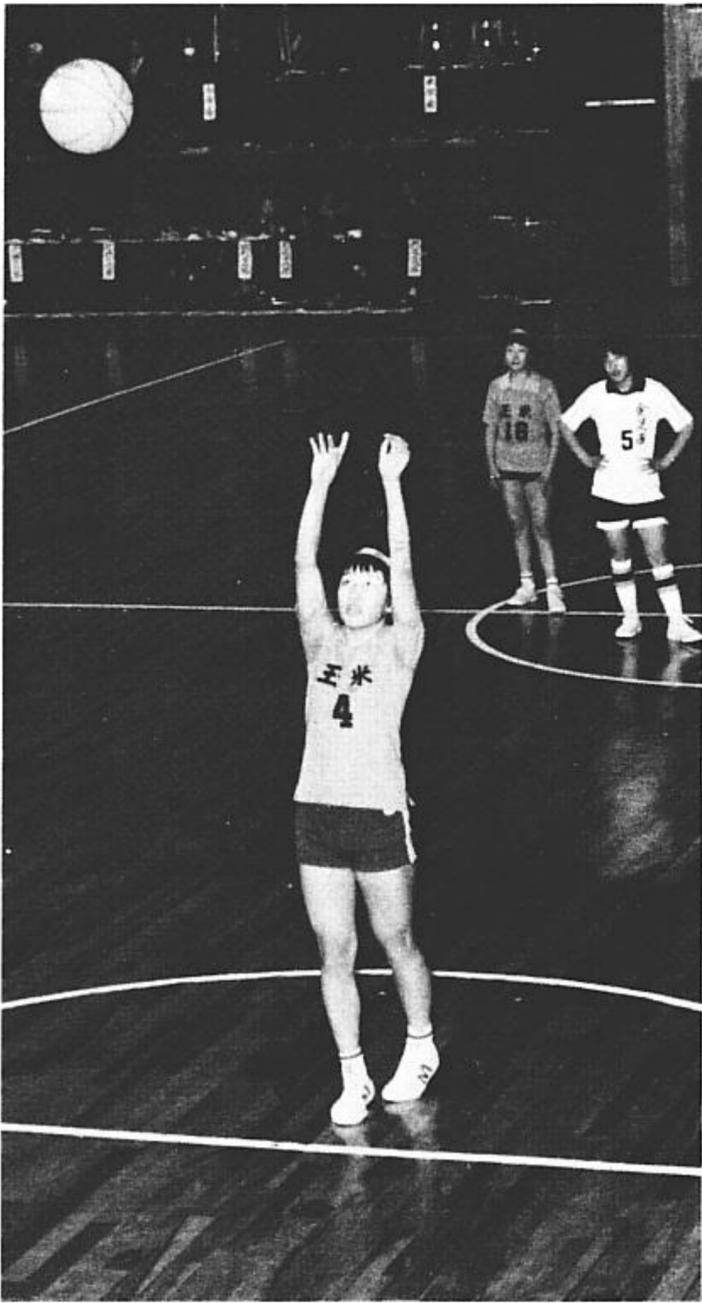
PTA会長・体育後援会長

小松 久隆

選手の動き、ベンチの指示もよかった。「ナイスシュート・玉小!!」の、熱気ある声援が、あの広い、県立体育館にこだまする。暮れも、正月もなく、きびしい練習に耐えてきたのだ。郡市代表として、悔いのない試合をしたと思う。父母の、だれかが言った。「この、ともし火を絶やすまい」
多くのかたがたの、あたたかいご指導、ご援助に、心からお礼申し上げます。

PTA 工藤 良子

郡市代表として県大会に出場し、準優勝チームと対戦、敗れたとはいえ、選手たちは精一ぱい頑張ったと思います。また、会場でのあのすばらしい



↑ 試合開始のセンタージャンプ……スジ書きのないドラマがいま始まった

相手反則からのフリースロー
ナイスシュートでまず一点



↑ 息づまる試合展開に思わずベンチを立つ

↓ 試合終了……相手ベンチに一礼し、引きあげる選手の顔には汗と涙が……



↓ 小旗をふりながら大応援



特別寄稿

県大会Bコート主任

堀江 静夫

い応援、本当にありがたいと思えました。地域の皆さんの暖かい応援があったから、選手たちも全力で走ってくれたのだと思います。選手はあの気持ちを忘れずに頑張ってください。

ミニバスケット全県大会出場おめでとう。

玉米スポ少は、基本に忠実で、団員、指導者、親の会、そして学校と四者一体となっている団結及び協調性にも素晴らしいものがあり、今回の試合によく表れていたと思う。大会での玉米小は、試合に勝って勝負に負けた感じ。今後は、基本を忘れず、体力の増強、団員の協調性を養い、なおいつそう頑張ってください。

試合結果

金足西	47		
14	6	17	10
11	6	9	6
32 玉米			

コートに燃えた玉小健児

大会を通して得た 教訓を生かしたい

校長 齋藤 正男

一月五・六日は選手にとつて一生忘れる事のできない感動を、最も深く心に刻み込んだ日であると思う。厳しい寒気、外は吹雪、張り詰めて眠れない一夜であったに違いない。

惜しくも敗れたとはいえ、よくぞここまでがんばったと心から拍手をおくりたい。

県大会出場までの選手が汗の練習で得たものは何であつたらうか。「自分達でもやれば何事も出来るのだ」という大きな自信だと思ふ。全校百十六人の一人ひとりの子が、そして教師も地域すべてに通じる大きな自信でもある。後輩は、先輩の残してくれた輝かしい歴史を、きつと受け継いでくれるであらう。

地域民挙げてのご指導、ご援助を心から感謝申しあげます。

監督 佐藤 正治

県大会では強豪金足西小と対戦し、敗れてしまいました。しかし、あの広いコートに全力で走る選手の姿を見て美しいと思ひました。よく、ここまで、長い苦しい練習に

たえ、自分をみがきあげてくれたと思ひます。これも、地域の皆さんをはじめ、多くの方々のご支援のおかげだと、今さらのように感じました。

コーチ 伊東 光昭

玉米小女子チームは、初めて県大会に出場したにもかかわらず優勝候補である金足西小をじつによく苦しめた。これは日頃の練習でのつらさに耐え、チームワークの結束により成し遂げたことである。

玉米小バスケットチームには、郡・県大会までの「和と力」を、これからの勉学・スポーツに生かすよう期待する。

コーチ 伊東 實

玉小女子チームの県大会出場。第一戦の第一球が(燃えよ!)玉米の力となり、六対六前半すばらしい山の子の全力がうかがわれた。最後の六分もすばらしい成績。根性で戦いぬいた。郡市代表女子が一度も初戦を勝つ事ができないままに終わったが三十二点という現在までの最高点であった事を祝いたい。来年度は男女代表を祈る。

兼スポ少団長 小松 正志

きまわりを守り、みんな仲良くしよう。たくましい心と身

体をつくろうーとスポ少結成三年目、郡大会出場二度目で優勝、夢に見た県大会でも善戦し頑張ってくれました。子供たちのこれまでの努力の成果と思ひます。

4番 工藤弥恵子(六年)

県大会では惜しくも敗れてしまいました。郡大会での優勝、県大会への初出場は本

7番 嶽石 晶子(六年)

精一杯やりました。でもおしくも一回戦で敗れました。今年は今四・五年にがんばってもらいたいと思ひます。

11番 今野 順子(六年)

初出場で、金足西小に敗れてしまった。くやしいけれどせいっぱいがんばった。小学校の良いい思い出になった。

16番 佐藤 和江(六年)

県大会に出場しておしくも一回戦は負けてしまいました。がチームワークもよかつたのでとてもいい試合でした。

10番 小野 博美(六年)

県大会では、おしくも敗れてしまいました。郡大会の優勝は、わたしにとって、心にのこりました。

17番 菊地 亨(五年)

私は、先生方やキャプテンたちのおかげで県立体育館に行くことができた。負けてしまったが、来年ががんばります。

12番 菊地 正子(六年)

県大会の試合は、くいのない試合でした。わたしたちはまけてしまったが、県大会まで進めて、うれしいです。

13番 小松みな子(五年)

わたしは、県大会に出場しましたが、敗れてしまいました。来年は、六年生に負けないうようにがんばりたいです。

15番 小松 知子(五年)

私たちは、くいのないようになんげりました。今の六年生に、負けないうように練習します。またがんばりたいです。

6番 小松 早苗(六年)

各先生方の指導と、親の会をはじめ地域の方々のご協力に感謝します。子供たちには、今後もみんな仲良く、元気にスポーツを楽しんでほしいと願っています。

18番 遠藤 秀子(六年)

郡市の代表として、県大会



善戦・大活躍の玉小女子チームのコーチと選手陣